

在宅療養支援に係る看護職の実践力養成プログラムへの参加募集

琉球大学医学部附属病院看護部では、患者・家族が安心して退院後も在宅で療養生活が送れるように、退院支援の強化を図っています。その取組として、看護師の退院支援実践力向上を目指し、以下のプログラムを作成し、訪問看護ステーション等との相互実習を行っています。

そこで、当看護部では、当院で実習を希望する訪問看護師の募集を行っております。ご希望の場合は、当看護部までお問い合わせください。

1. 訪問看護師の在宅で必要とされる処置やケアの実践力養成プログラムの実施

目的：在宅で必要とされる医療ニーズに対応するための処置およびケア技術を習得する。

目標：医療ニーズの高い看護技術について理解し実践できる。

対象：訪問看護ステーション等で勤務する訪問看護師

実習期間：基本的に 0.5 日～1 週間以内とするが、実習者のニーズに応じて日程を調整する。

方法：病棟の指導看護師（又は認定看護師）についてケアの見学及び実践をする。

内容：① 医療ニーズが高い技術として想定している項目を経験する。

② 受入予定の患者に応じて、習得の必要な技術を経験する。

③ 医療ニーズとリスクの高いケアの方法を経験する。

④ 実習者のニーズに応じた技術を経験する。

研修応募期間：H29 年 12 月末まで

本件に関する問い合わせ先

琉球大学医学部附属病院看護部

教育担当副部長 小渡 清江

TEL：098-895-3331（内線 3510）